

# 市民の力で二十一世紀にさらなる飛躍



白石市長  
**川井 貞一**

新年あけましておめでとうございます。

わが国経済は、ゆるやかな回復を見せているものの、依然として厳しい不況下にあり、政治・行政面においても閉塞状態が続いております。

このような状況の中で、本市がこれまで進めてまいりました、白石市第三次総合計画「ホワイトプラン」は適切な財政運営と時代を先取りした計画によって着実に推進され、「くらし日本一のまちづくり」に向けた情報化、国際化、高齢化、都市化などの基盤整備は完了をしております。

しかしながら、今、時の流れは

とうとうとして地方分権の時代に切りつつあります。地方分権とは、単に権限が国や県から市町村に移譲されることだけではなく、国と地方自治体が対等の関係にあり、自らの知恵と自らの工夫で都市間競争に勝ち抜いていかなければならないという、重い責任を持つ時代であります。

そのような意味で、二十一世紀の白石のまちづくりは、これまで整備された施設のさらなる活用に努めるとともに、市政全般についてこれまで以上に市民の皆さんのご意見や参画をいただきながら、くらし日本一の「ふるさと白石」の建設を目指し、全力で市政を執

行してまいりたいと考えております。

さて、昨年は長年の悲願であり、市民の命と健康を守る医療の中核施設となる「公立刈田総合病院」の移転新築工事が平成十四年春の開院を目指して着手されました。福祉面では介護保険施行に伴い、本市独自の温泉デイスサービスや配食サービスなどの高齢者福祉施策を実施に移したほか、ノーマライゼーションの理念に基づき、障害者と健常者が交流できる施設「福祉プラザ・やまぶき」がオープンしました。さらには独自の障害者スポーツ助成事業を新たに実施するなど、白石型福祉が着実に推進されました。

また、「不忘アザレア」や蔵王のブナと水を守る会」などのNPO法人をはじめ、各種ボランティア団体の活動の拠点となる「市民活動支援センター」がオープンするとともに、センターの管理運営を「市民活動フォーラム」に委託し、市民自らの手で行っていたこととなりました。

さらに、市民がワークショップを重ね、計画に参加して完成した

「つくし公園」の開園や、若手商業者などが中心市街地の活性化に取り組むなど、まちづくりの各方面において積極的な市民参加がありました。

その他、小原上戸沢産業廃棄物最終処分場の建設阻止に絡み、私が副会長を務める全国産廃問題市町村連絡会が、公共関係の推進、地元住民同意を許可要件として、厚生省、環境庁に初の意見書を提出しました。また、これまでの本市の財政運営の健全性が認められ、市債を活用した事業を行う場合の手続きが簡単な協議だけでよいこととなるなど、本市にとって大きな前進があった年でありました。

今年、現在策定を進めております、第四次白石市総合計画「ホワイトプランパート」に基づき、四つの柱となる「健康・福祉都市」「環境都市」「生涯学習都市」「IT先端都市」の実現を目指して本市の二十一世紀のまちづくりを進めてまいります。

特に、今年には市民に最高の医療を提供する公立刈田総合病院の一日も早い移転新築を進めるとも



白石市議会議員  
**佐藤 伸式**

## 佐藤 伸式

情勢は、生活基盤の整備拡充、少子高齢化対策、福祉の充実、高度情報化社会への対応、基盤産業である農業の振興、中心市街地の商店街の活性化、さらには災害に迅速な対応をするための基盤づくりなど、市民生活に直接影響を及ぼす市民が安心して暮らせるハードやソフト事業へ取り組む課題が山積しております。

このような課題に対処していくためには、国と地方の役割とともに財源を明確にしたうえで、地方自治体の自己決定・自己責任という地方分権を積極的に推進し、主体的な地方自治を確立することが必要であると考えております。

市議会といたしまして、県内一の健全財政を引き続き堅持したうえで、いかに厳しい現実と直面しようとも、本市の発展のため真剣に審議を尽くし、「くらし日本一のまちづくり」に向かって懸命に努力を続けてまいり所存であります。

また、市民に信頼される開かれた議会に向け、各公民館への議会中継モニター設置など、今までも増して議会改革に取り組むよう議員一同決意を新たにしておりますので、より一層のご支援とご叱声を賜りますようお願い申し上げます。また、新年のあいさついたします。

新年  
の  
ごあいさつ



障害者と健常者との交流が図られている「福祉プラザやまぶき」(写真は白石市ボランティアみなみの会と福祉作業所やまぶき園の皆さん)



市役所の環境ISO14001認証取得に向け行われている市職員研修会

役所としてISO14001に挑戦してまいります。

その他、柿の里構想・くず代表される「個性ある農業」やソバを生かした地域づくり、企業誘致など、産業の振興に努め、均衡ある発展を目指してまいります。

本年も新世紀にふさわしい活力に満ちた白石市建設のために、邁進してまいり所存でありますので、市民の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。

ターなどの福祉関連施設の整備にも着手してまいりたいと考えております。

教育面では、建築後四十年以上が経過し、老朽化が著しい南中学校体育館と福岡中学校体育館について、ワークショップでの市民の皆さんのご意見をもとに改築を進めてまいります。

さらに、計画地が水源地となっている小原上戸沢産業廃棄物最終処分場については、引き続き断固阻止に努めるとともに、地球環境に配慮した行政を行うために、市

に、福祉の里と情報化によって、「保健・福祉・医療」の一体化を目指してまいります。

また、昨年策定された「白石市中心市街地活性化基本計画」に基づき、白石駅東西間の連携を高めるための自由通路の整備や刈田病院跡地、壽丸屋敷を活用した中心市街地の活性化について事業を進めてまいります。

福祉面では、障害者と健常者が共生できる「ノーマライゼーション」のまちづくりを目指すために、市内中心部へのデイスサービスセン